

最終1月 京大本番レベル模試

採点基準 英語

全体の基準

- *原則として次の基準に従うものとする。各問ごとの追加基準がある場合はそちらが優先される。
- ・原則として減点方式により採点する。
- ・各小問は、全体をいくつかの部分に分けて点数を分配する。
- ・部分ごとに、解答が明らかに未完である場合、その部分については点数を与えない。
- ・誤字・脱字・スペルミスは、1語につき**マイナス1点**

英文和訳 (大問Ⅰ・Ⅱ) の基準

- *以下の項目に関して、1点から3点の幅で減点する。
- ・単語の誤訳や文脈上不自然な訳は、1つにつき**マイナス1点**を原則とする。但し、意味・構文上大きな誤りは**マイナス2点**とする。訳漏れの場合は単語の種類によって次を原則とする。即ち、**修飾語**は欠如しても意味・構文に影響が少ない場合、**マイナス1点**。**内容語**と**機能語**は欠如すると意味・構文に影響するので、原則**マイナス2点**とする。

単語の種類	誤訳	欠如
修飾語 (限定形容詞・副詞・冠詞・助動詞)	-1	-1
内容語 (名詞・代名詞・動詞・叙述形容詞)	-1	-2
機能語 (従属接続詞・前置詞)	-1	-2

- ・イディオム・文法・語法・構文の知識不足による誤訳は、単語の誤訳に倣う。文脈の把握ミスによる致命的な誤訳は、1つにつき**マイナス3点**を原則とする。但し、与えられた配点を超えた減点はしない。

英作文問題 (大問Ⅲ・Ⅳ) の基準

- *部分ごとに基準がない場合、以下の項目に関して、1点から3点の幅で減点する。
- ・単語の誤訳・訳漏れは、上記和訳問題に同じ。
- ・イディオム・文法・語法・構文の知識不足による誤訳及び適切性を欠く訳は上記和訳問題に準ずる。また、**SVO**の語順、従属接続詞や前置詞の後置など致命的な構文上の誤りは、1つにつき、**マイナス3点**を原則とする。

配点表

大問	小問等	内訳	小問得点	大問得点
I	(1)	下線部和訳	14	50
	(2)	下線部和訳	14	
	(3)	下線部和訳	22	
II	(1)	下線部和訳	25	50
	(2)	下線部和訳	17	
	(3)	下線部和訳	8	
III	-	和文英訳	-	25
IV	-	自由英作文	-	25
合計			150	

大問 I

【基準・配点】

次の要素に以下の点を配す。以下に言及のない誤訳・ミスは1つマイナス1~2点を原則とする。

(1) 14点満点

区分		配点
①	There are also animals that survive the winter in your own backyard, in ways you wouldn't expect. 「あなたの身近にも、思いもよらない方法で冬を越す動物たちがいる。」	6
②	If you're fond of winter walks through forests in Ontario — and indeed most of Canada — odds are you've trod on a frozen frog. 「オンタリオ州(いや実はカナダの大半の地域)の森を冬に散歩するのが好きな人なら、おそらく凍ったカエルを踏んづけたことがあるだろう。」	8

(2) 14点満点

区分		配点
①	This starts a cycle where water keeps being pulled out of cells only to freeze, requiring more water to be drawn out. 「このため、水分が細胞から抜け続けてすぐ凍りつき、それによって水分がさらに抜けるという循環が始まる。」	7
②	Similar to a deflating balloon, if too much water leaves the cell, the membrane starts to collapse inward. 「しぼんでいく風船に似て、水分が細胞から抜けすぎると、細胞膜は内側に向かってつぶれ始める。」	7

(3) 22点満点

区分		配点
①	The sugar lowers the freezing point of the water in the blood and organs, and decreases the amount of water drawn out of the frog's cells. 「糖分は血中と臓器内にある水分の氷点を下げるので、アカガエルの細胞から抜ける水分量を減らす。」	9
②	As a result, up to 70 per cent of the extracellular water in the overwintering frog can freeze without ice forming inside cells, leaving no trace of damage when they thaw in spring. 「その結果、越冬中のアカガエルにおいて細胞外の水分が70%まで凍結することがあっても、細胞内には氷が形成されず、春に体が解凍すると少しの損傷もないままなのである」	13

大問II

【基準・配点】

次の要素に以下の点を配す。以下に言及のない誤訳・ミスは1つマイナス1~2点を原則とする。

(1) 25点満点

区分		配点
①	To illustrate his point, picture yourself having a terrible day at work. 「彼の主張を説明するために、自分が仕事で散々な1日を過ごすことを想像してみよう」	4
②	You labor away, trying your best, but nothing seems to go in your favor. 「最善を尽くして努力しているのに、何1つとしてうまくいく様子がない」	4
③	You feel more drained and frustrated by the hour, and you can't wait for the day to be over. 「時間を追うごとに疲労感といら立ちが募り、1日が終わるのを待ちきれなくなる」	4
④	Then, as you walk home exasperated, a random bird flies by and, out of nowhere, splashes one on your head. 「そして、むしゃくしゃしながら家路をたどると、予期せぬ鳥が近くを飛び、突然、頭に一物をバシッとやられる」	4
⑤	And you freeze. It's so unexpected that, at first, you're shocked. 「そこであなたは凍りつく。あまりに思いがけないことなので、最初はショックを受ける」	3
⑥	But then, you begin to chuckle in disbelief. 「しかしその後、あなたは信じられなくてクスクス笑い始める。」	2
⑦	And you can't help but burst into a defeated laughter. 「そして、散々な目にあつたことを大笑いせずにはいられない」	4

(2) 17点満点

区分		配点
①	What Seneca describes in "On Tranquility of Mind" is an undivided love for one's life, in fortune and misfortune alike, to the extent that not even something tragic could threaten it. 「セネカが『心の平静について』の中で述べているのは、幸不幸いずれでも、また何か悲劇的なことこさえ脅かされないほど、分かたれることなく自分の人生を愛するということである」	8
②	This is the most Stoic interpretation of <i>amor fati</i> , or loving one's fate — a term attributed to the 19th-century German philosopher Friedrich Nietzsche, who wrote extensively about the value of laughter. 「これこそ、 <i>amor fati</i> すなわち自分の運命を愛することを最もストア派らしく説明したものである。これは19世紀のドイツの哲学者フリードリヒ・ニーチェによるものとされる言葉で、彼は笑いの価値について広範に書き著した人物である。」	9

(3) 8点満点

区分		配点
①	Instead of feeling defeated by adversity, you could welcome it confidently, smile and even laugh, and keep striving in its wake. 「逆境に負けたと思うのではなく、自信を持ってそれを快く受け入れ、ほほほほ笑い、さらには声にも出して笑い、その後大いに努力し続けなければならない。」	5
②	Fate and failure only hurt those who cannot come to terms with them. 「運命や失敗は、それらを快く受け入れられない者たちを傷つけるだけなのである。」	3

大問Ⅲ (25点)

- 語句レベルで不適切な箇所は、程度に応じて1カ所につき1～2点。

区分		配点
①	生成系AIをめぐる議論が最近賑やかだが、現状では、信頼性と活用法の2点に論点が集約されよう。	8
②	前者は、出典を確認できるようにすれば解決するはずだ。	4
③	後者について言えば、新技術は、原子力や遺伝子操作を含め、本質的に善でも悪でもない。	7
④	価値を与えるのは人間であり、歴史の中で幾度も直面してきたお馴染みの問題である。	6

大問Ⅳ (25点)

【配点】(1)5点 (2)5点 (3)5点 (4)10点

【基準・減点】

以下に言及のないミスは全体的基準に従う。

1. 形式面

- ・明らかに解答欄の下線を見越した回答は、採点対象にしない。
- ・制限語数を満たさないものは、採点対象にしない。
- ・間にピリオドがあつて、2文以上のものは、採点対象にしない。

2. 語数・英語の正しさ

3. 文法面

- ・文法・語法のミスは各マイナス1点。

a. 語数・段落数

ミスの種類	減点数
① 語数制限を超えている	(1)～(3) -5 (4) -10
② 指示（各下線の上に単語1語を記入する）を守らず、複数の単語を入れている	-2
③ 間にピリオドがあつて2文以上のもの	(1)～(3) -5 (4) -10

b. 内容面

ミスの種類		減点数
(1)	「情報量が多い」、または「課外活動も成績として評価される」という内容を含まない	-5
(2)	「メグの方が成績優秀だと思いがちだ」という内容を含まない	-5
(3)	「A店はクレープ(だけ)を売っているが、B店はそれ以外のものも売っている」という内容を含まない	-5
(4)	「(主張の)説得力」と「情報の質[(主張に)関連のある情報]」を重視する内容を含まない	-10